

平成 27 年 3 月 26 日

各 位

会 社 名 アキュセラ・インク (Acucela Inc.)
代 表 者 名 最高経営責任者兼社長 ブライアン・オカラガン
(コード番号：4589 東証マザーズ)
問 合 せ 先 アキュセラ・インク (Acucela Inc.)
日本事務所 ディレクター 須賀川 朋美
(TEL：03-5789-5872 (代表))
代 理 人 ベーカー&マッケンジー法律事務所 (外国法共同事業)
弁護士 高橋 謙 (TEL：03-6271-9900)

2014年12月期決算短信の開示が期末後50日を超えたことに関するお知らせ

当社は、本日2014年12月期決算短信の開示を行いました。当該開示が決算期末後50日を超えた理由および改善への取組みにつきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2014年12月期決算短信の開示が決算期末後50日を超えた理由

当社は、決算期末後遅くとも50日での開示に向けた体制で決算作業を行ってまいりましたが、2014年12月期決算につきましては、米国証券取引委員会 (SEC) への年次報告書 (Form10-K) の期限日を決算発表の基準としておりました。為、決算短信の開示が決算期末後50日を超えるに至ったものであります。

2. 改善への取組みについて

当社は、今回の決算開示が遅延したことを厳粛に受け止め、2015年12月期以降の開示時期につきましては、決算発表の早期化の趣旨を理解し、決算期末後50日以内に確実にかつ迅速に情報開示を行うよう決算業務を実施してまいります。

以上

アキュセラ・インク (Acucela Inc.) について

アキュセラ・インク（日本語サイト：www.acucela.jp）は、世界中で数百万人が罹患している視力を脅かす眼疾患の進行を遅らせることにより治療を目指す革新的な治療薬の探索および開発に取り組んでいる、臨床開発段階のバイオ製薬企業です。当社と大塚製薬株式会社は、現在、当社が独自に創製した視覚サイクルモジュレーションに基づく地図状萎縮を伴う加齢黄斑変性の治療薬「エミクススタト塩酸塩」および高眼圧症または開放隅角緑内障に対する治療薬「OPA-6566」の共同開発を行っています。

免責事項

本資料は関係情報の開示のみを目的として作成されたものであり、有価証券の取得または売付けの勧誘または申込みを構成するものではありません。本資料は、正確性を期すべく慎重に作成されていますが、完全性を保証するものではありません。また本資料の作成にあたり、当社に入手可能な第三者情報に依拠しておりますが、かかる第三者情報の実際の正確性および完全性について、当社が表明・保証するものではありません。当社は、本資料の記述に依拠したことにより生じる損害について一切の責任を負いません。

また本資料の情報は、事前の通知なく変更される可能性があります。

本資料には将来予想に関する見通し情報が含まれます。これらの記述は、現在の見込、予測およびリスクを伴う想定（一般的な経済状況および業界または市場の状況を含みますがこれらに限定されません）に基づいており、実際の業績とは大きく異なる可能性があります。今後、新たな情報、将来の事象の発生またはその他いかなる理由があっても、当社は本資料の将来に関する記述を更新または修正する義務を負うものではありません。